資料２－１０
（第 27 回監視円卓会議）

増設施設工事中トラブル事象等について

前回第 26 回監視円卓会議で増設工事中の労働災害についてご報告した際に工事中のトラブルについても円卓会議で報告するべきとのご意見がありました。
前回報告したものも含めて現時点まで発生したトラブルは以下のとおりです。

事　　象	発生月日
１．ガス溶断作業中の火傷	5 月 18 日
＜状況＞ 鍛冶工が鉄骨部材のガス溶断作業中、溶断片が作業者の袖口から入り込み、左脇に火傷を負った。 ＜傷病名＞ ・火傷（第２度熱傷）（不休災害） ＜原因＞ ・服装、保護具の不徹底 ＜対策＞ ・適切な保護具着装の徹底。	
２．歩行移動中の転倒による右手親指脱臼	7 月 13 日
＜状況＞ 据付指導員が歩行中に床面に設置していた角材に躓き転倒した。この時に右手を床面に突いたが親指を脱臼した。 ＜傷病名＞ ・右手親指第一関節脱臼（不休災害） ＜原因＞ ・本人の注意不足 ・注意喚起の安全標示不足 ＜対策＞ ・入構者への安全教育再徹底 ・「足元注意」やトラテープなどの標示を見直して、再度設置	
３．高所作業車からの転落による急性硬膜下血腫	9 月 6 日
＜状況＞ 保温工が高所作業車に乗って天井面への保温作業中、高所作業車から床面に降りる際にバランスを崩して床面に転倒した。 ＜傷病名＞ ・急性硬膜下血腫（入院中） ＜原因＞ ・手摺りから手が滑った ・足が昇降用のステップに掛からなかった。 ・本人の慣れによる安全意識の不足	

＜対策＞ ・手摺りに滑り止めテープ貼り付け ・昇降用ステップにトラテープ貼り付け ・高所作業車のメーカ、型式を統一化	
４．回転工具への巻き込まれによる左手人差し指脱臼	9 月 17 日
＜状況＞ 電工が天井面に電気配線用ラック取り付け用のアンカー打ち作業を行っていた際に打ち込み機械の回転部分に左手を添えたままスイッチを入れたため左手人差し指が巻き込まれて脱臼した。 ＜傷病名＞ ・左手人指し指脱臼（不休災害） ＜原因＞ ・作業手順の不遵守 ＜対策＞ ・作業手順書の見直し、及び再教育 ・リスクアセスメント実施要領、危険予知活動の改善	

災害発生が続いたことで JESCO としても安全管理体制に関して種々見直しを行い、以下のように緊急対応及び体制の強化を図りました。

① 請負者の安全衛生部門長が来所し、緊急安全パトロール実施
② JESCO（北海道事業所長）による工事朝礼での訓示
③ 請負者安全管理体制に安全専任を 2 名追加配置（１名→３名）
④ 請負者定例安全パトロールを強化（以下）
　・元請会社及び一次下請会社所長パトロール（不定期→週１回）
　・一次下請会社（外部部署）（月１回→週１回）
　・元請会社（外部部署）（月２日→月４日）
　・元請会社（外部安全衛生部門）（不定期→月１回）
　尚、以下については従来通り実施
　・元請会社責任者パトロール（毎日）
　・元請会社安全専任パトロール（毎日）
　・一次下請会社安全担当パトロール（週３回）
⑤ JESCO と請負者の合同安全パトロール強化（月１回→週３回）
⑥ 新規入場者安全教育で過去に発生した災害事例を説明して再発防止を徹底指導